

国文祭  
芸文祭

# ロゴマーク決まる

5/10

## 2年後の10~12月に開催

2年後に本県で開催さ  
れる第35回国民文化祭と  
第20回全国障害者芸術・

文化祭の実行委員会(会  
長・河野知事)総会が28  
日、宮崎市内であり、新  
年度事業計画などの各案  
を承認した。公募してい  
た大会ロゴマークも初披  
露された。

両文化祭は2020年  
10月17日から12月6日の  
51日間開催し、開会式に  
は皇室をお迎えしての行  
啓行事とすることがすで  
に決まっている。

今総会では、開会式会  
場(10月18日)を宮崎市  
民文化ホール、閉会式は  
メディキット県民文化セ

ンターに決定。期間初日  
に県庁周辺でプレフェス  
ティバルを開くこととし  
た。いずれも実施計画書  
作成の業務委託先を来月  
公募する。

期間中にはシンボルシ  
ムや「共に生きてともに  
感じる芸術文化事業」、県  
内全26市町村での分野別  
経費の3分の2を負担す  
る。

機運を高めるため、今  
年は10月に「2年前イベ  
ント」、11月に県劇25周年  
記念事業と絡めた「70

フェスティバルを計画。  
各市町村実行委員会(文  
化・経済団体などで構  
成)には15万円を上限に

0日前イベント」などを  
計画。年度内に公式ホー  
ムページも開設し、ポス  
ターやイメージソング、

ロゴマークは県内の児  
童・生徒を中心に応募さ  
れた382点の中から、  
宮崎市の浅部真依(活動  
名・かわぐちまい)さん

(34)の作品を採用。水  
引をモチーフに宮崎の空  
や海、太陽、神社などを  
イメージしたという。

# のへ ざ話流 い神源

YAMANOSACHI UMINOSACHI

決定した第35回国文祭・第20回芸文祭の  
ロゴマーク



ロゴマークを前に作者の浅部さんと河野  
知事、みやざき犬(28日、宮崎市)

# 野口漫畫版の伝記を寄贈

市内の小学4年生全員に配布 旭小で贈呈式



漫畫版「のべおか新興の母 野口遵」



お礼を述べた日高君

旭化成の創業者野口遵（したがう）の顕彰活動をしている延岡市の「野口遵顕彰会」（清本英男会長）は25日、野口の生涯と功績を分かりやすく紹介した漫

画本105冊を旭小学校（長尾岳彦校長）に贈った。本は、郷土の偉人を学習する際に活用して

もうおうと平成27年に作成したものでB5判24ページ、オールカラー。同年から毎年、市内の小学4年生全員に1冊ずつ配布している。今年の配布総数は1415冊。

葉を担当した日高快飛君（9）は、この贈呈式に先立つて野口について調べてみたといい、「子どものころはいた

葉を担当した日高快飛君（9）は、この贈呈式に先立つて野口について調べてみたといい、「子どものころはいた

葉を担当した日高快飛君（9）は、この贈呈式に先立つて野口について調べてみたといい、「子どものころはいた

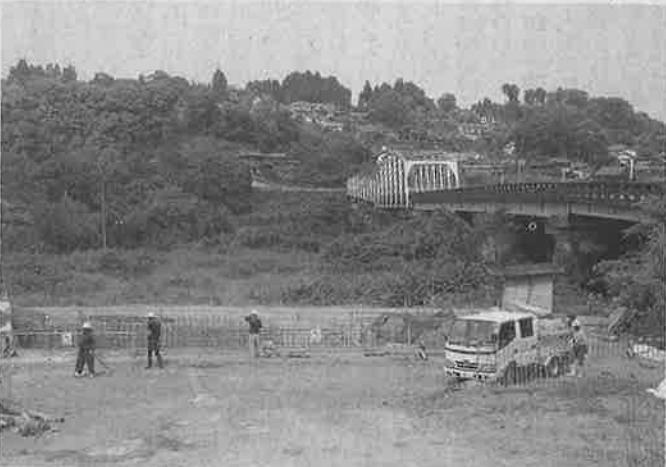
ずり好きだったけど、頭が良かつたことが分かりました。この本を読んでもっと詳しく調べてみます」と話した。

同顕彰会が同26年まで中学生に配布していく文章版の野口伝は、同顕彰会のホームページから閲覧できる。

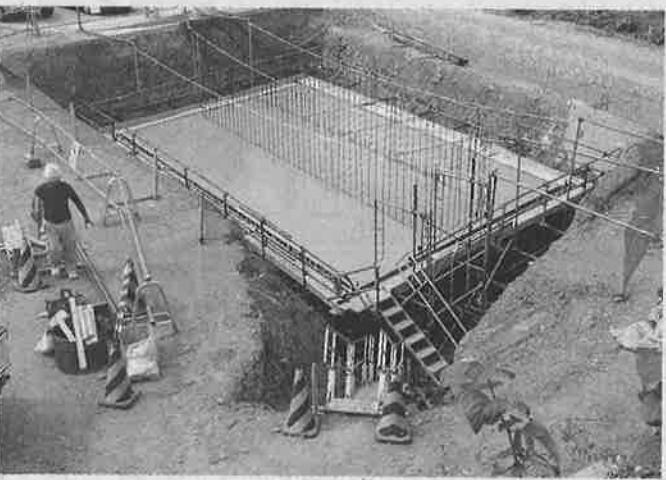
# 川水流橋



架け替えられる現在の川水流橋



新橋は現橋の30㍍上流に架け替えられる



現在は橋台工事などが進む

事業費概算で30億円 県、早期完成を目指す

## 架け替え工事始まる

5/30

延岡市北方町

延岡市北方町の県道北方北郷線「川水流橋」の架け替え工事が始まった。県によると、老朽化に加え、幅員が狭く車のすれ違いが困難な現橋を、2車線(歩道付き)の新橋に整備する。事業費は周辺の道路改良などを含め概算で約30億円。完成時期は未定だが、県は「早期完成を目指したい」としている。

道218号に接続する県道の起点部分に位置している橋で、延長は約270㍍。県道は災害時の緊急輸送路ともなる重要路線だが、現在の橋は完成から新たに整備する橋は、現在の橋の30㍍上流に架け替える。幅員6・5㍍が、現在の橋は完成から架け替えを決めた。新たな面から整備を望む地元の声などもあり、県が

平成23年度に調査費を計上し、26年度に事業に着手。用地買収や測量・設計などを経て、3月から工事をスタートさせた。現在は、右岸側で橋台1基と橋の取り付け部分周辺の県道改良工事が進んでおり、10月中旬の完成を見込む。最終的には橋台2基、橋脚4基を建

立する見通し。今後は下部工、上部工と工事を進めた上で、新橋の完成後に現在の橋を撤去する計画という。